

岩手県感染症週報

平成19年第6週（2月5日～2月11日）

岩手県結核 感染症情報センター

第6週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生のおりはありませんでした。

4 類感染症

・患者発生のおりはありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

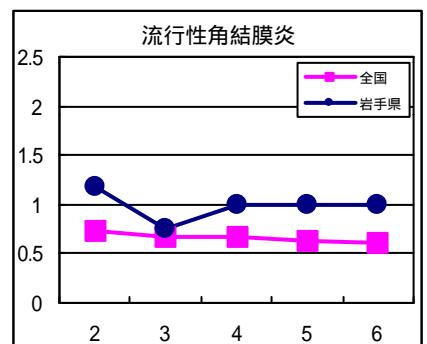
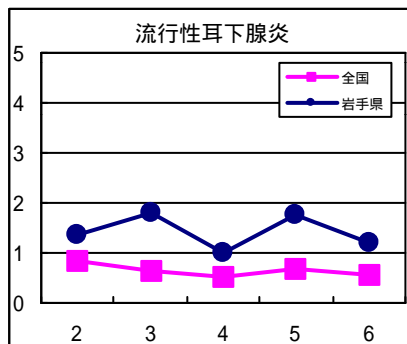
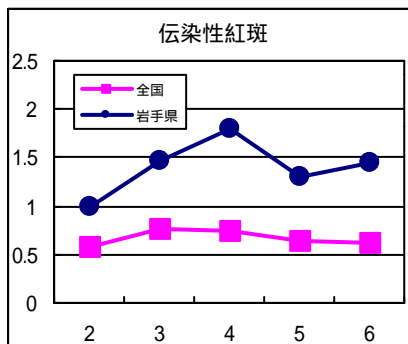
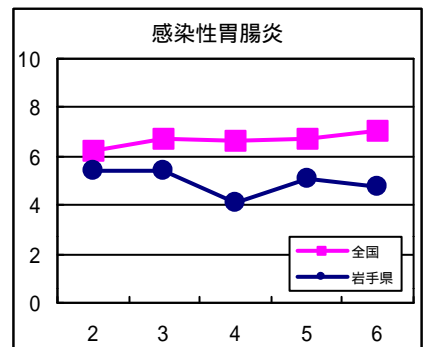
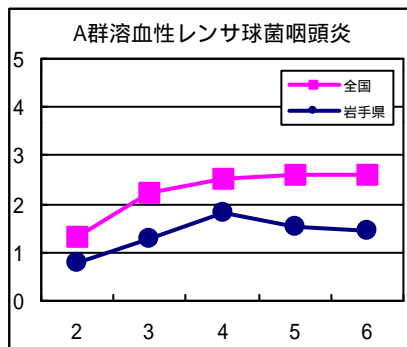
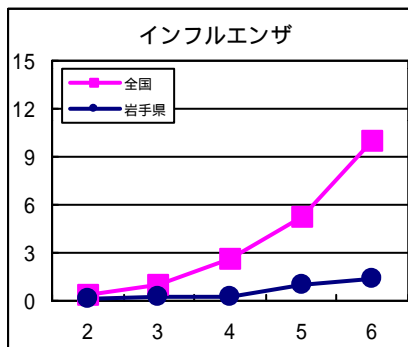
・患者発生のおりはありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、内陸部を中心に増加しました。盛岡地区では、学年閉鎖措置がとられた小学校もあり、今後の流行状況には注意が必要です。県環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、1月以降、A香港型インフルエンザウイルスが検出されています。インフルエンザにかかった場合は、早めに医療機関を受診し、治療を受けることが重要です。
- ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、奥州地区で患者数が多い状態が続いていますが、1月以降は減少傾向にあります。
- ・伝染性紅斑（りんご病）は、奥州及び一関地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超える状態が続いています。
- ・溶レン菌咽頭炎は、北上地区で警報値（同4人）を超える状態が続いています。
- ・感染性胃腸炎は、今年に入ってから例年並みの患者報告数に落ち着いていますが、ノロウイルスによる集団感染や食中毒は引き続き発生しているため、注意が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		2	3	4	5	6		
インフルエンザ	岩手県	0.14	0.24	0.19	1	1.41	↗	
	全国	0.37	1.06	2.58	5.31	9.95		
RSウイルス感染症	岩手県	0.15	0.1	0.15	0.26	0.77	↗	
	全国	0.89	0.94	1.08	1.04	0.8		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.03	0.08	0.13	0.18	→	
	全国	0.29	0.31	0.33	0.34	0.38		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.79	1.28	1.82	1.54	1.44	→	
	全国	1.34	2.23	2.51	2.62	2.62		
感染性胃腸炎	岩手県	5.38	5.38	4.08	5.1	4.74	→	
	全国	6.21	6.76	6.68	6.69	7.02		
水痘	岩手県	2.36	2.13	1.97	1.79	2.62	↗	
	全国	2.69	2.07	2.3	2.04	2.43		
手足口病	岩手県	0.28	0.51	0.41	0.31	0.15	→	
	全国	0.2	0.35	0.38	0.36	0.4		
伝染性紅斑	岩手県	1	1.46	1.79	1.31	1.44	↗	
	全国	0.57	0.77	0.74	0.65	0.61		
突発性発疹	岩手県	0.41	0.41	0.44	0.38	0.49	→	
	全国	0.65	0.69	0.64	0.65	0.61		
百日咳	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.05	0.05	0.03	0.1	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.38	1.79	1	1.77	1.21	↘	
	全国	0.85	0.64	0.53	0.69	0.58		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	0.75	1	1	1	→	
	全国	0.74	0.68	0.67	0.63	0.61		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.04	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.45	0.8	0.7	0.45	0.9	↗	
	全国	0.49	0.58	0.52	0.55	0.62		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

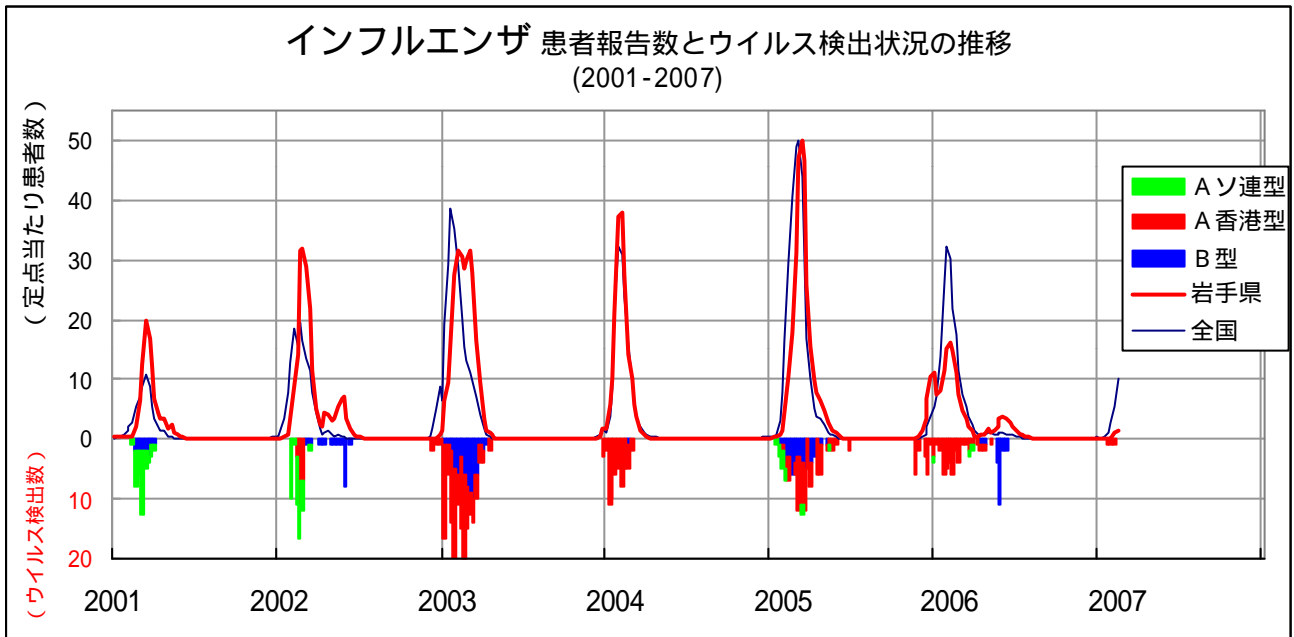
分類	疾病名	岩手県						全国	
		(週) 2	3	4	5	6	累計	6	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	6	70
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	3
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	3
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	18	82
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	4
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	1	0	0	1	2	16
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	1
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	33
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	4
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	1	0	1	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	1
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	2	40	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	3	74
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	16
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	4	20
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	16
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	0	1	17	121
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	4
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	2	39
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	11

今注目の感染症

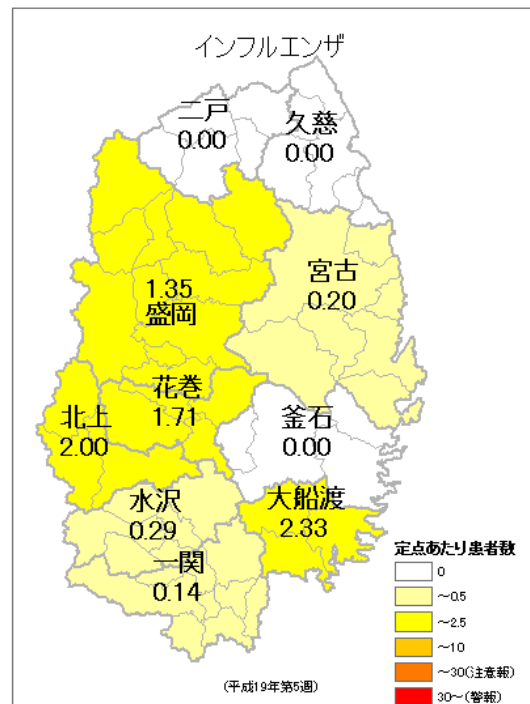
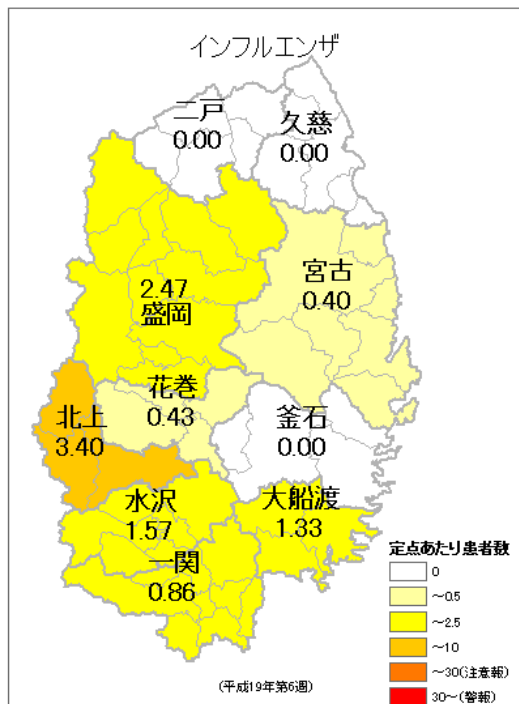
インフルエンザ

インフルエンザは、毎年冬季に流行が見られます。県内でも、内陸部を中心に流行が始まったようです。環境保健研究センターで行っているウイルス検査でも、A香港型インフルエンザウイルスが分離検出されています。

予防には、帰宅時の手洗いやうがい、外出時のマスクの着用、適切な湿度の保持（50～60%）、十分な休養と栄養が重要です。また、インフルエンザにかかったと考えられる場合は、早めに医療機関を受診するとともに、咳やくしゃみをする際には、ハンカチやティッシュで口元を覆う、あるいはマスクを着用するなど、周囲への配慮が望まれます。



インフルエンザの定点あたり患者数（左：第6週、右：第5週）



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖措置状況

- 1 盛岡市立東松園小学校6学年 在籍数71名 罹患者数41名 うち欠席者数20名
2/13 5校時～2/15 患者からインフルエンザ（A型）が確認されている。

感染性胃腸炎の集団発生

- 1 盛岡市内の病院（入院患者数241名、職員132名）
 - ・患者の状況 2月7日から14日にかけて、30名（入院患者29名、職員1名）に症状（下痢、嘔吐、発熱等）
 - ・有症者8名中2名からノロウイルスを確認

感染性胃腸炎の集団発生の状況

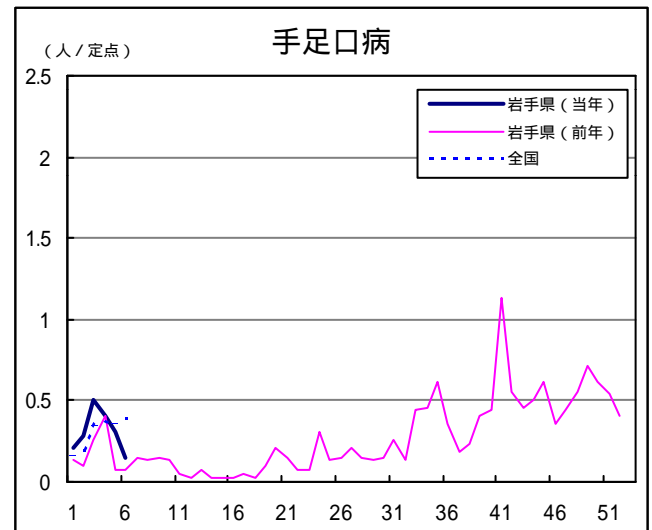
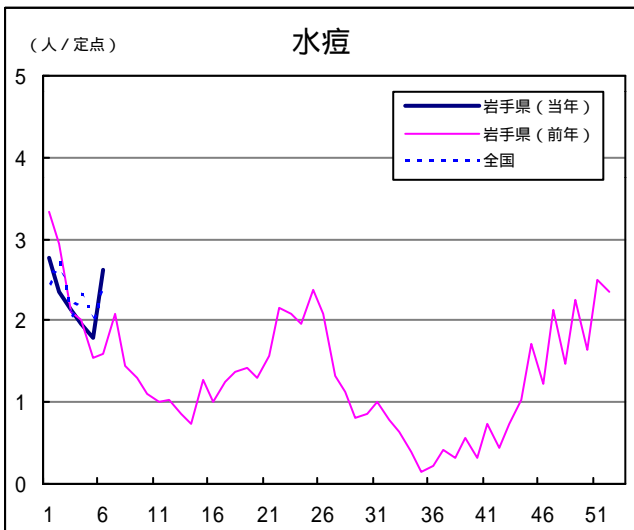
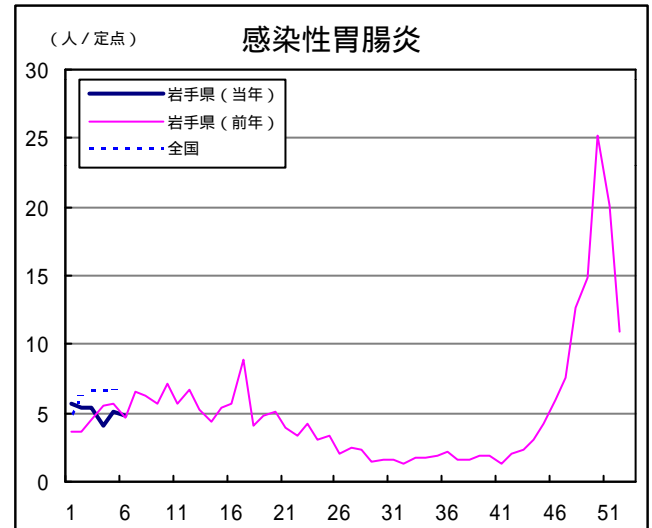
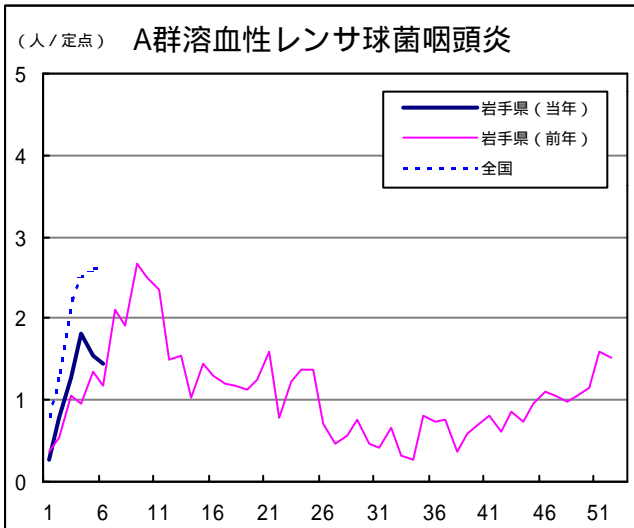
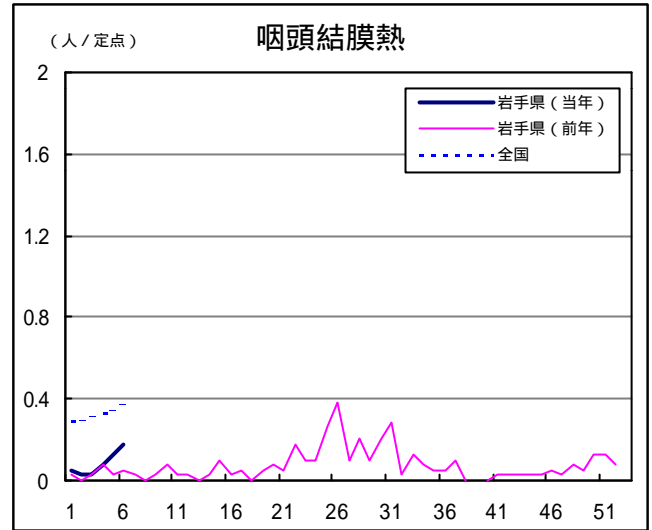
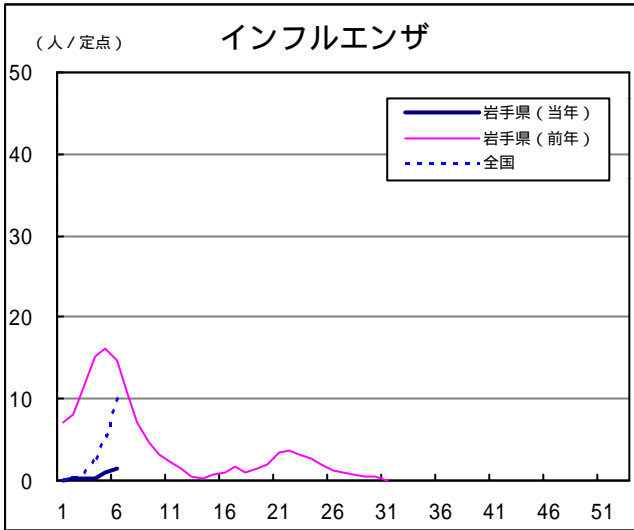
- ・平成19年1月以降 13件目
- ・平成18年1月～12月 27件（ノロウイルス26件、ロタウイルス1件）

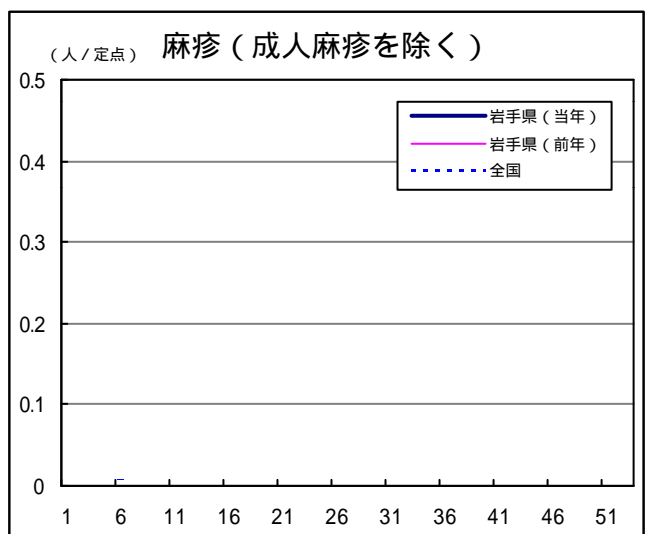
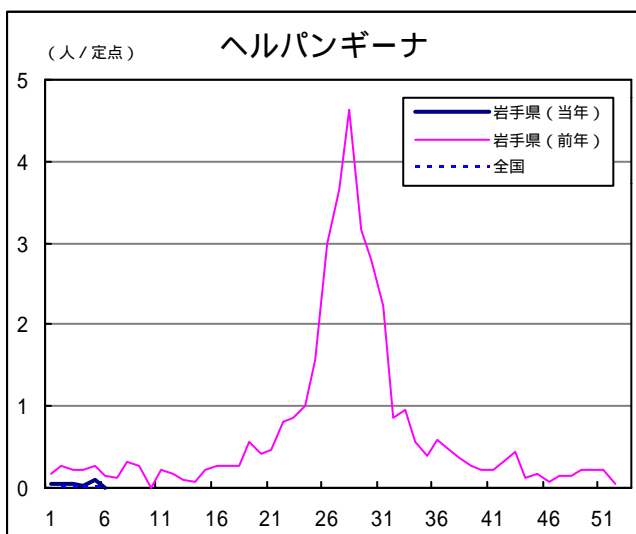
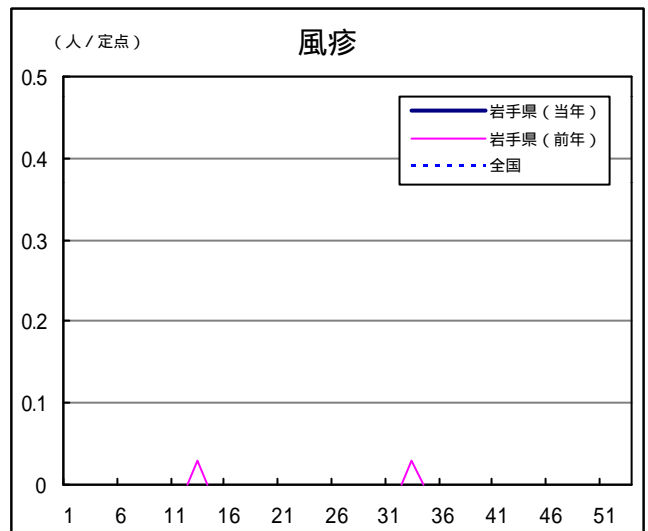
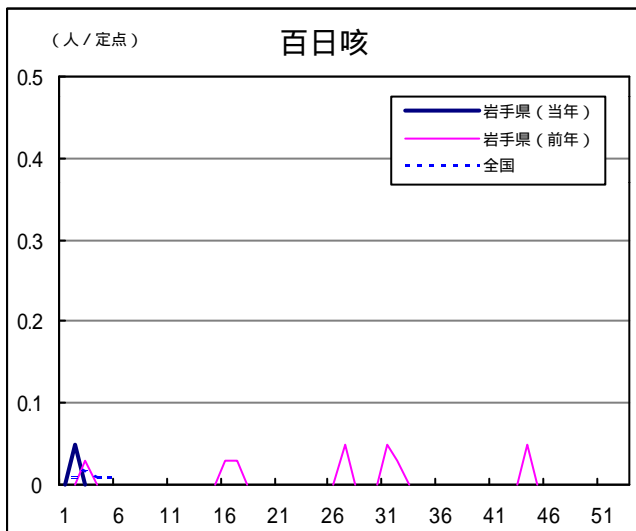
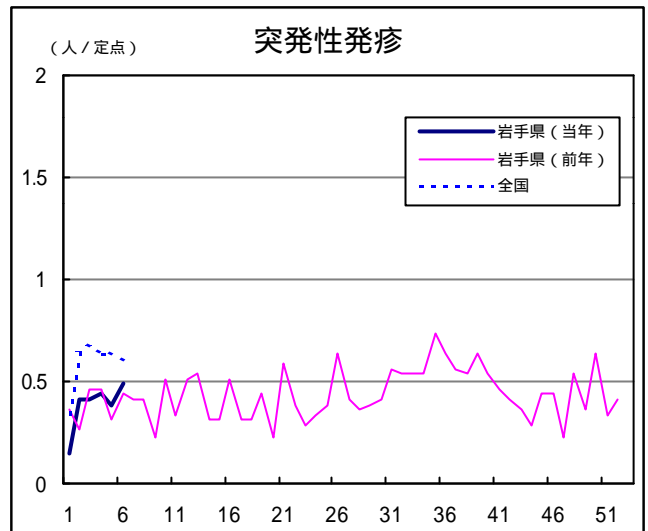
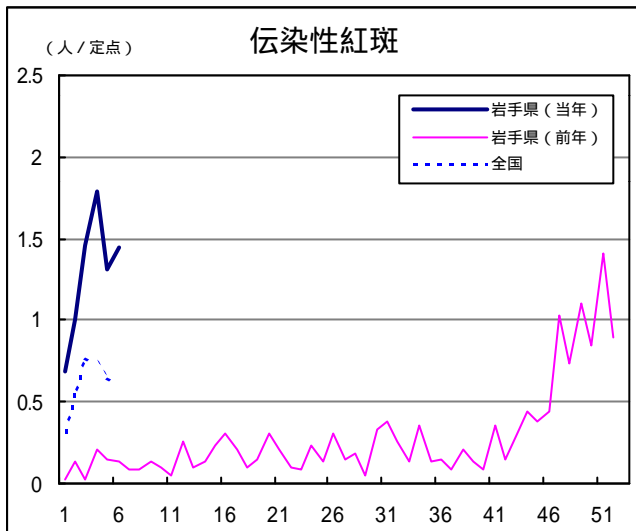
Q & A

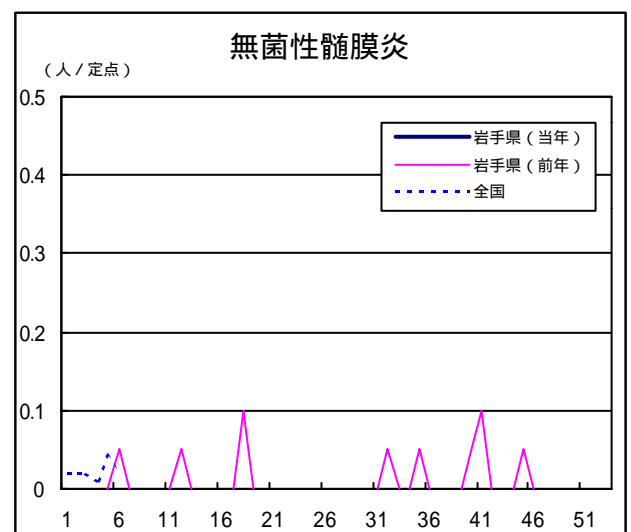
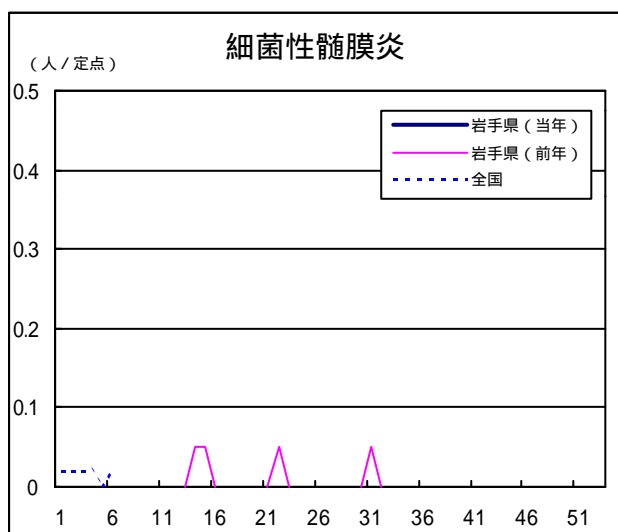
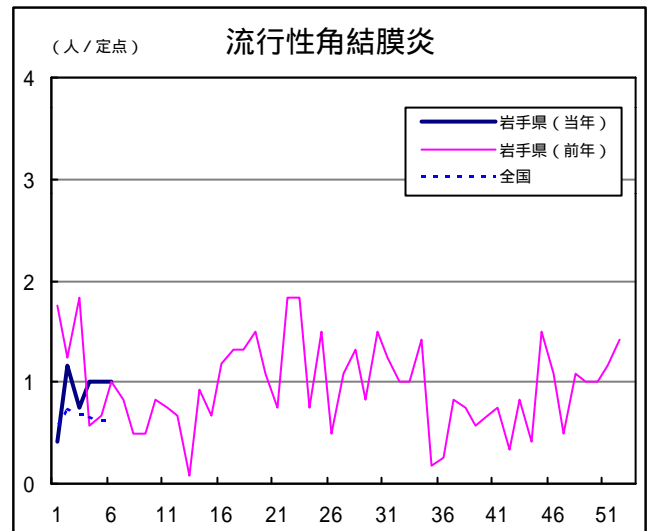
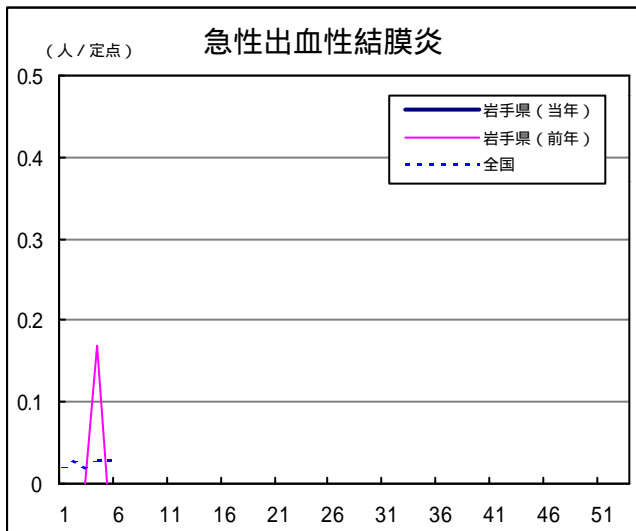
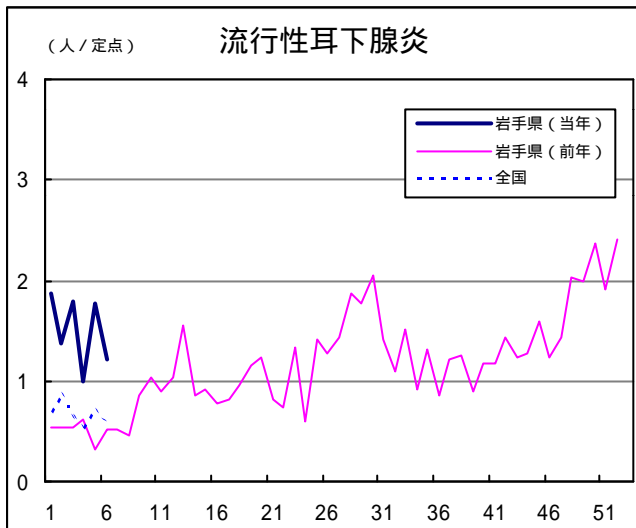
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

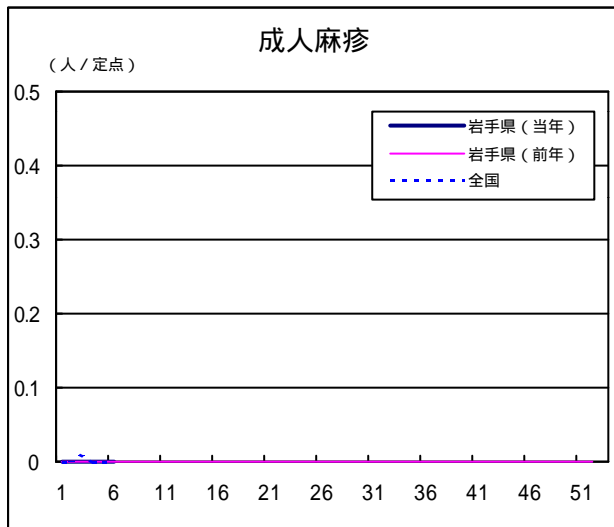
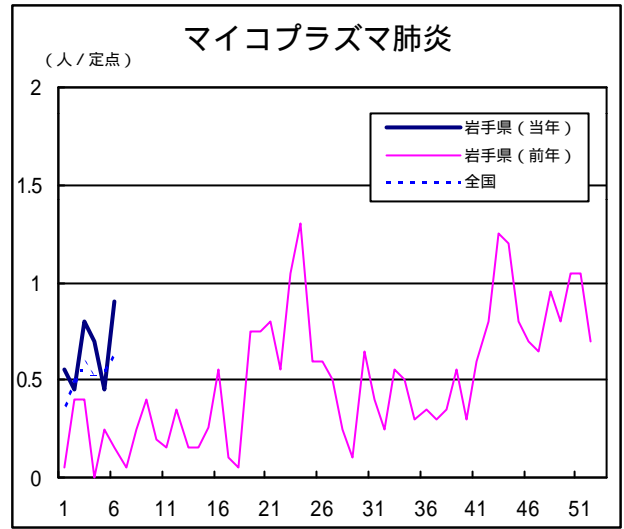
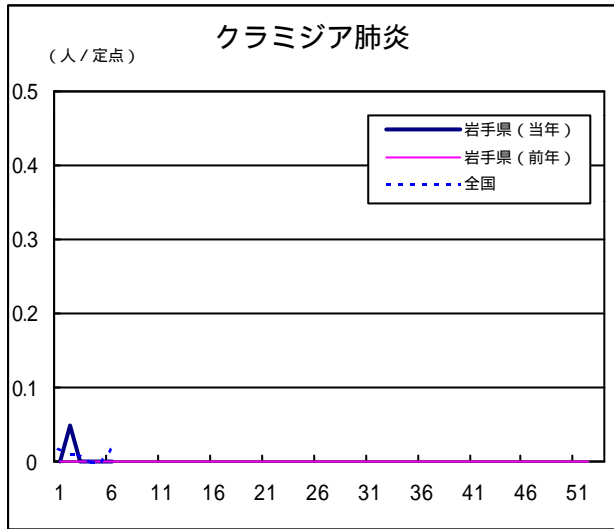
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	39	12	20
盛岡		17	11	3	5
花巻		7	4	1	3
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第6週 平成19年2月16日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>